


【拙著新刊案内】

『痛快！ 気くばり指南「親父の小言」』

(青春新書、2014年7月1日刊、青春出版社、定価本体830円+税)

* 青春出版社(TEL:03-3203-5121)へ、著者の知人・関係者と申し込みば2割引になるため、ある程度まとまればお得です。

小泉吉永
Yoshinaga Koizumi



青春新書 INTELLIGENCE

痛快！ 気くばり指南 「親父の小言」

ISBN978-4-413-04427-1
C0221 ¥830E

定価： **本体830円** + 税
青春出版社

小泉吉永 こいずみよしなが

1959年東京生まれ。早稲田大学政治経済学部卒業。往來物研究家。法政大学文学部講師。教員を経て、出版社勤務の傍ら往來物の蒐集と研究を始め、学術博士(金沢大学)を取得。往來物研究の第一人者として活躍中。江戸庶民の生活や教育、文化などをわかりやすく解説することから、テレビ、ラジオ等の出演も多い。

編著書に「江戸の子育て」読本(小学館)、「江戸の子育て十カ条」(柏書房)、「江戸に学ぶ子育て入づくり」(角川SSコミニケーションズ)、「庄屋心得書 親子茶呑咽」(岩田書院)ほか多数。

青春新書 INTELLIGENCE

江戸の親父の一喝!

- ◎ 人に割を食わせるな ◎ 始末をしろ ◎ 親の日は万事慎め
- ◎ 門口をきれいにしろ ◎ 悪しき事もよしよと祝い直せ…

うるさくも、あたたかい81カ条

青春出版社

青春新書 INTELLIGENCE

小泉吉永

PI-427 青春出版社

こころ涌き立つ「知」の冒険

青春新書 INTELLIGENCE

江戸の親父の一喝!

- ◎ 人に割を食わせるな ◎ 始末をしろ
- ◎ 親の日は万事慎め ◎ 門口をきれいにしろ
- ◎ 若いうちは寝ずに稼げ
- ◎ 悪しき事もよしよと祝い直せ

うるさくも、あたたかい81カ条

青春出版社

小泉吉永

平成25年2月、ネットオークションに出品された1冊の和本。それが、「火は粗末にするな」「朝、機嫌よくしろ」で始まるおなじみの格言集『親父の小言』の江戸版だった。そこに流れていたのは、世間を「人様」と呼ぶ江戸のころ。日本人が忘れたくない精神を読み解く!

PI-427 青春出版社

親父の小言 起源は江戸

「火は粗末にするな」「朝きげんよくしろ」といった、居酒屋などで見かけた人生訓「親父の小言」。知られているのは、実は福島県浪江町の寺から戦後に広まったものだが、江戸時代にはすでに本にまとめられていたことが分かった。しかも、81カ条もある。



江戸時代にまとめられた「親父の小言」。「人に腹を立たせるな」「人に恥をかかせるな」などである
 小泉吉永さん提供

人生訓 45カ条より古い81カ条

法政大文学部講師の小泉吉永さん(54)が今春、古書店のオークションで6ページの「和紙の状態や裏表紙に「嘉永五年 九月吉日」と刷られていることから、江戸時代末期の1852年のものと確認できる。

内容は、これまで知られていた45カ条を含む81カ条。「子どもの頭を打つな」「人に恥をかかせるな」といったものもあった。小泉さんは「江戸の庶民が大切にしてきた処世訓を簡潔に述べた金言集と言える」。

なつたとされる。現任職の敦郎さん(53)は、暁仙さんの孫。「父が原本を探したけれど分からなかった。江戸時代にあったなんて」と驚く。原発事故の影響で福島市に避難しているが、庫裏に掲げた額は「大切なものだから」と一時帰宅時に持ち出した。

表紙には「親父の小言」とある。作者は不明だが、「施主 神田住」の文字から、小泉さんは、東京・神田の篤志家が出資して作ったものとみている。当時は篤志家が社会貢献として書物を無料で配ることがあったという。

「小言」は、浪江町にある大聖寺から広まったと言われる。昭和初期の1928年、当時の住職・青田暁仙さんが書家に45カ条を書いてもらい、庫裏に掲げた。その内容を檀家の日用雑貨店が額装して売りに出し、戦後に知られるようになった。

江戸時代の教育史に詳しい江森一郎・金沢大名大学教授は「江戸時代版には江戸時代的な教訓が多く、当時の社会をうかがわせる貴重な史料。45カ条のものと比較すると、時代の変化を考察できるのでは」と話す。

親父の小言 (抜粋)

45カ条にある内容	81カ条にあった内容
<ul style="list-style-type: none"> 人に馬鹿にされていよ 年寄りをいたわれ 大酒は呑(の)むな 貧乏を苦にするな 小便は小便所へしろ 家内は笑うて暮らせ 	<ul style="list-style-type: none"> 朝早く起きろ 人を羨(うらや)むな 子供の頭を打つな 喧嘩(けんか)をするな 若い内は寝ずに稼げ 年寄つたら楽をしろ

小泉さんは、23日に大空社から小冊子「江戸版 親父の小言」(税別500円)を出版。昭和版と比較した解説も載せている。
 (山本奈朱香)